



月影の記憶

— 薪能を巡る語りと実演

2024年8月、札幌市南区・石山緑地で開催され、大盛況のうちに幕を閉じた石山緑地薪能「あたら夜の月影- 覧古考新 -」。この公演が、舞台の様子だけでなく出演者インタビューや制作過程も交えたドキュメンタリー・フィルムとして新たに生まれ変わりました。

今回、その2月23日(月・祝)開催の上映会に向けたプレイベントとして、公演の演出・出演を務めた観世流シテ方・松野浩行氏をお招きし、舞台裏のエピソードや上演に至るまでの背景をご紹介しますとともに、能特有の「仕舞」や「謡」について実演を交えて解説します。

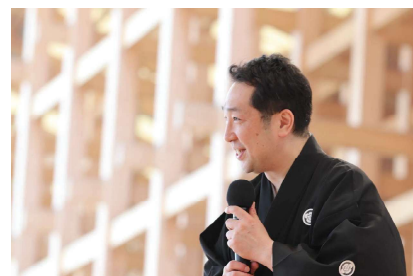
日時 **2026年2月8日(日) 13:30-15:00** (開場13:00)

会場 **札幌市図書・情報館1階サロン** 札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ内

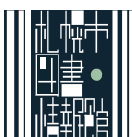
定員 **50名** (事前申込不要・先着順) 受講料 **無料**

登壇 **観世流シテ方 松野 浩行** Hiroyuki Matsuno

1974年、京都市出身。幼少より、祖父・観世流能楽師 故松野良輝より指導を受け、1979年仕舞『合浦』にて初舞台。1994年より十三世林喜右衛門師に師事し、その後、十四世林喜右衛門に師事する。2001年独立。以降、『石橋』『狸々乱』『翁』(千歳)『道成寺』を抜く。京都、横浜、神戸にて松野吟耀社を主宰。YouTubeチャンネル「matsu-noh on time」では、能楽以外の様々なことを積極的に発信。キャンプ場や廃校校庭で行う「焚火能」など、能楽堂以外でも能を楽しんでもらえる企画に努める。2024年「石山緑地薪能(札幌市)」では演出を手掛けるなど、能楽の総合プロデュースも目指している。茶道を嗜み、茶と能の共通点など独自の視点でも発信する、能楽を他分野へと繋げていく役割を担う。



主催／札幌市図書・情報館、札幌市教育文化会館(公益財団法人札幌市芸術文化財団)



札幌市図書・情報館

連絡先／札幌市教育委員会中央図書館調整担当課図書・情報館
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階
TEL.011-208-1113 FAX.011-208-1110
HP : <https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>

